

# 指定管理業務点検・評価シート（令和4年度業務）

令和5年8月1日

施設名	鳥取県立倉吉未来中心	所在地	倉吉市駄経寺町212-5
施設所管課名	文化政策課	連絡先	0857-26-7839
指定管理者名	公益財団法人鳥取県文化振興財団	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日

## 1 施設の概要

設置目的	人と人との交流を促進し、地域の活性化を図るため。
設置年月日	平成13年4月21日
施設内容	○敷地面積：21,117.63㎡ ○建物面積：16,401.81㎡ ○施設内容：大ホール（最大1,503席）、小ホール（最大310席）、第1～第10楽屋、リハーサル室、第1、第2練習室、セミナールーム1～9、アトリウム、団体事務局サロンほか
利用料金	
開館時間	午前9時～午後10時
休館日	○毎月第1,3,5月曜日（当該月曜日が休祝日の場合は、その翌日の休祝日でない日） ○年末年始（12月29日から1月3日まで） ○施設・設備の保守点検を行う日

## 2 指定管理者が行う業務

委託業務の内容	①施設設備の保守管理及び修繕 ②施設の保安警備、清掃等 ③管理施設の利用の許可、施設利用料の徴収等に関する業務 ④その他施設の管理に必要な業務 ⑤倉吉未来中心を利用した文化芸術の振興に関する業務 ⑥地域との連携
---------	--

## 3 施設の管理体制

（令和5年3月1日現在）

管理体制	正職員：17人、非常勤職員：2人、臨時的任用職員：1人〔計20人〕  館長（正職員1） <ul style="list-style-type: none"> <li>総務部〔事務・施設利用・文化事業実施〕 （正職員8、非常勤2、臨時職員1） ※県民文化会館駐在職員含む（正職員1）</li> <li>技術管理部〔舞台技術・施設管理〕 （正職員8）</li> </ul>
------	--

## 4 施設の利用状況

利用者数（人）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	4年度	4年度	5,113	7,396	12,928	11,772	8,855	5,416	15,805	17,357	9,364	5,297	10,756	8,156
3年度	3年度	2,904	2,772	3,476	3,654	2,978	3,772	6,247	9,292	5,967	6,158	2,627	5,929	55,776
増減	増減	2,209	4,624	9,452	8,118	5,877	1,644	9,558	8,065	3,397	△861	8,129	2,227	62,439

  

利用料金収入（千円）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	4年度	4年度	7,762	2,454	2,757	3,309	4,079	2,891	2,903	4,763	3,744	1,494	2,127	2,530
3年度	3年度	4,746	1,667	2,580	1,477	829	965	1,483	1,661	1,742	3,351	462	1,880	22,843
増減	増減	3,016	787	177	1,832	3,250	1,926	1,420	3,102	2,002	△1,857	1,665	650	17,970

5 収支の状況

(単位：千円)

区 分		4年度	3年度	増 減	
収入	事業収入	利用料金収入	40,815	22,842	17,973
		小 計	40,815	22,842	17,973
	事業外収入	県委託料	136,399 (129,850)	128,934 (123,977)	7,465 (5,873)
		倉吉市委託料	59,217 (55,499)	55,826 (55,295)	3,391 (204)
		手数料・使用料収入	3,139	2,431	708
		雑収入等	838	6,626	△ 5,788
小 計	199,593	193,817	5,776		
計	240,408	216,659	23,749		
支出	人件費	84,008	85,045	△ 1,037	
	管理運営費	146,133	126,126	20,007	
	計	230,141	211,171	18,970	
収 支 差 額		10,267	5,488		

6 労働条件等

確認項目	状 況				備 考	
	常勤正職員	非常勤職員 (無期労働契約)	非常勤職員 (事務)	臨時職員		
雇用契約 ・ 労使協定	労働条件の書面による提示	就業規則、労働条件通知書	非常勤職員就業規則、労働条件通知書	非常勤職員就業規則、労働条件通知書	臨時的任用職員就業規則、労働条件通知書	※書面の名称を記入
	就業規則の作成状況	作成・届出済	作成・届出済	作成・届出済	作成・届出済	※常時10人以上の労働者を雇用する場合は作成、届出が必要
	労使協定の締結状況	時間外労働・休日労働に関する協定書				※労働基準監督署長への届出が必要な協定の有無
労働時間	所定労働時間	8時間				※幅がある場合は上限、下限を記入
	時間管理の手法	勤怠管理システム				※タイムカード、ICカード、自己申告、使用者の現認などの別を記入
	休暇、休日の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>概ね4週間当たり8日間の週休日</li> <li>国民の祝日に関する法律に規定する休日数（土曜日と重複する日を除く）</li> <li>年末年始（12/29～1/3）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年次有給休暇</li> <li>その他の休暇</li> <li>[有給] 病欠休暇、特別休暇、子の看護休暇</li> <li>[無給] 育児・介護休暇、海外随伴休暇</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年次有給休暇</li> <li>その他の休暇</li> <li>[有給] 特別休暇、子の看護休暇</li> <li>[無給] 育児・介護休暇</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年次有給休暇</li> <li>その他の休暇</li> <li>[有給] なし</li> <li>[無給] 館長が認めるとき</li> </ul>	※幅がある場合は上限、下限を記入
給与	給与金額	298千円	181千円	157千円	168千円	※平均月額を記入
	最低賃金との比較	適	適	適	適	※適否を記入
	支払い遅延等の有無	無	無	無	無	※有無を記入
安全衛生	一般健康診断の実施	年 1 回				
	産業医の選任	選任の要否：否	選任状況：なし			※規模の要件あり
	安全管理者の選任	選任の要否：否	選任状況：なし			※業種・規模の要件あり
	衛生管理者の選任	選任の要否：否	選任状況：なし			※規模の要件あり
	安全衛生推進者（衛生推進者）の選任	選任の要否：要	選任状況：総務課担当職員より選任			※業種・規模の要件あり

7 サービスの向上に向けた取組み

区 分	取 組 み 内 容
利用申込 利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホールの過去利用者に対する抽選申込受付のDM送付や、文化芸術事業の販売促進告知（紙面掲載等）に取り組んだ。</li> <li>ホールの空き情報をホームページやSNSを活用し随時発信した。</li> <li>同一利用者・利用目的による利用回数制限を廃止し、定期的に利用する利用者の利便性向上を図った。</li> </ul>

情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「未来つながるプロジェクト」においては、チラシ作成や館公式WEBサイト・SNSを通じて情報発信に努めている。特にキッズプログラムにおいては、対象となる層に情報が行き渡るよう、中部地区の全園児・児童・子育て支援センター利用者等にチラシ配布を行っている。</li> <li>・SNSにおいては、公演情報を中心に消防訓練や清掃活動などの館運営に関わる情報も発信し、親しみやすい会館運営を目指している。</li> <li>・財団主催公演においては、上記のツールに加えメディア広告も展開し、県全域に情報が広まるよう発信に努めている。</li> </ul>
新たなサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「とっとり施設予約サービス」のリニューアルに伴い、インターネット上での利用申込及びオンライン決済を可能とした。（ホール及びアトリウムを除く）</li> <li>・施設利用料金の支払い方法に、受付窓口でのクレジットカード決済を導入した。</li> <li>・国際的に優れた文化芸術公演利用に対して優先申込受付を開始した。</li> <li>・個室楽屋、セミナールーム3講師控室に空気清浄機を設置した。</li> <li>・男性用トイレにサンタリーボックスを設置した。</li> <li>・利用に係る各種申請書をより簡単に提出できるよう、ホームページに申請書ファイル受付専用フォームを開設した。</li> </ul>
アンケートの実施	効率的な施設運営に資するため施設利用者に対して会場の選定理由や満足度、職員の対応状況等についてアンケート調査を実施し、意見内容の分析と積極的な反映や改善に向けた検討に取り組んだ。
地域懇談会の開催	地域で実施する文化芸術事業及び施設の運営・事業について意見を聴き、企画・運営に的確に活かすために地域懇談会を開催した。（財団として東部・中部・西部で開催）
イベント相談窓口	イベント主催に対し、効果的な施設の利用方法や舞台の準備から撤収に係るトータルサポートを行うための窓口を設け、文化活動団体及び公共観光施設からの相談に応じた。（相談実績：3件）
舞台技術支援・講座の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校演劇部の学生向けに、演劇公演を行うための舞台づくりについて舞台・照明・音響の基礎講座を行った</li> <li>・自治体のホール管理について、保守・管理に対する資料提供を行った。</li> <li>・建築分野等に関わる学生向けに、特殊建築物であるホールの構造、設備等の見学機会を設け、体験型の教育支援を行った。</li> </ul>

## 8 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内にメッセージBOXを設置</li> <li>・申込手続きや利用施設の満足度、職員の対応等に関する意見を把握するための施設利用アンケートの実施</li> <li>・電話、FAX、Eメールによる意見等の受付</li> <li>・運営懇談会の設置・開催</li> <li>・県への「県民の声」による意見受付</li> </ul>
------------	--

利用者からの苦情・要望	対応状況
講師控室に匂いがあった。（セミナールーム3）	室内清掃時の換気を徹底し、空気清浄機を設置した。
楽器演奏の際、ダウンライトがカタカタ鳴る。（練習室2）	早急に照明器具の点検を行い、該当箇所を調整した。
ホワイトボードがきれいに消えない。（セミナールーム7）	ホワイトボードマーカーとレーザーを交換した。
ホールのトイレ便座クリーナーの液が空だった。	清掃作業時にクリーナー液の点検を徹底するよう改善した。
天井の蛍光灯が点滅していた。（セミナールーム3）	早急に照明器具の点検を行い、電球を交換した。
「とっとり施設予約サービス」で備品の選択が見当たらず断念した。（セミナールーム1）	「とっとり施設予約サービス」の申込画面にて、利用希望備品を入力できる項目を設けた。
室内のボールペンが出ないので変えてもらえると助かる。（練習室1）	常設用ボールペンを交換した。
スクリーンがもう少し下まで下がると良い。（セミナールーム4）	スクリーンの取付位置を調整した。

<p>入口付近の床がギシギシ音が出る。(セミナールーム4)</p>	<p>点検を行い、調整した。</p>
<p>利用者からの積極的な評価</p>	
<p>〈職員の対応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な要望に迅速に快く対応いただき感謝している。</li> <li>・申込時からとても丁寧に相談にのってもらい助かった。</li> <li>・とても綺麗で広く明るく大変快適だった。受付の職員もフレンドリーで嬉しかった。</li> <li>・いつも笑顔で親切に対応してもらえるので、安心して気持ち良く利用できる。</li> <li>・大きなイベントはストレスだが、とても気持ちよくスムーズに助けていただいた。</li> <li>・いつも大変使いやすく、職員も丁寧な対応をしてくれて、気持ち良く利用できた。</li> <li>・映像のタイミングやライティングなど上手にいただいた。</li> <li>・不慣れだったが、企画運営まで丁寧に教えてもらって無事終了できた。</li> <li>・清掃員が気持ちの良い挨拶をしてくれて嬉しかった。</li> <li>・変更手続きの手順を丁寧に教えてもらえた。</li> <li>・舞台職員が大変親切でステージをより良く演出してくれた。</li> </ul>	
<p>〈施設設備〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット申込が出来るようになって大変簡単・便利で助かる。</li> <li>・清掃が綺麗に行き届いていた。</li> <li>・いつ利用してもトイレ清掃等がきちんとしてきていて満足している。</li> <li>・素晴らしい音響、ピアノで、気持ちよくコンサートができた。</li> <li>・設備が整っており、とても利用しやすかった。</li> <li>・とても使いやすかった。また利用したい。</li> <li>・コピー機の利用が出来て助かった。(資料の印刷忘れで当日USBフラッシュメモリから印刷対応できた。)</li> <li>・とても良い利用環境に満足。実力を発揮できた。</li> </ul>	

9 指定管理者による自己点検

<p>〔成果のあった取組み・積極的に取り組んだ事項〕</p>
<p><b>○利用者の安心・安全への取組と公平・公正な管理運営</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の安全管理と公平公正な管理運営に努め、利用者目線を第一としたサービスの向上に努めた。</li> <li>・新型コロナウイルス感染予防対策の各種ガイドラインに基づき、施設運営及び事業実施等における感染防止対策を講じた。また、感染拡大防止対策の一層の徹底及び施設利用者の安心・安全のため、施設の利用時間を21時30分までとし、施設利用後の消毒作業時間の確保を継続した。</li> <li>・倉吉未来中心、鳥取二十世紀梨記念館、鳥取県男女共同参画センターの統括防火管理者として、3館合同消防訓練を年1回実施するとともに、倉吉未来中心のみの単独訓練を年1回実施し、火災発生時の初期消火・来館者の避難誘導・関係機関への通報体制を整えている。令和4年度はホールの上層階に取り残された観客をはしご車で救出するという訓練を行い、職員の危機意識を高めた。</li> <li>・施設の利用状況を加味して臨時休館日を設けるなどし、設備の点検・予防保全に努め、中長期整備計画を基に必要な改修・設備の更新を県へ要望、或いは会館で修理しながら施設の維持管理を行った。</li> <li>・倉吉パークスクエア内の施設(倉吉未来中心、鳥取二十世紀梨記念館、鳥取県男女共同参画センター、美術館整備局、倉吉交流プラザ、市営温水プール、食彩館等)による「倉吉パークスクエア会議」を毎月開催して情報共有を図るとともに、駐車場混雑時の対応を各施設と連携・調整を図りながら安全管理を行った。</li> </ul>
<p><b>○施設の魅力を最大限に活用する取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設見学の際、令和3年に改修した舞台機構、舞台照明を使用したショーを実施し、先進的な設備を紹介した。特に舞台機構については、世界基準の設備を導入したことをアピールできた。</li> <li>・オープンスペースのアトリウムでは、施設のコンセプトである人々が交流し情報収集する場所として様々な工夫をした。 〔具体例〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内出身・在住アーティストを活用した無料コンサート</li> <li>・館内インスタレーション(七夕飾り、クリスマスイルミネーション)</li> <li>・中部地域を題材とした作品等、中部の魅力を発信する作品を展示するアートギャラリー</li> <li>・デジタルサイネージを活用した中部地域の文化芸術公演情報の紹介</li> <li>・中部1市4町文化・観光情報コーナーによる中部地域の魅力発信</li> <li>・「フィギュアのみち」倉吉が取り組む「まちなかミュージアム」のフィギュアを展示し、中心市街地との動線づくり</li> <li>・パイプオルガン自動演奏やコンサートピアノ演奏体験等による、日常的に音楽に触れる機会の提供</li> <li>・令和7年春に開館予定の鳥取県立美術館を紹介するコーナー設置による美術館開館の気運の盛り上げ</li> </ul> </li> <li>・倉吉市内小中学校の校外学習、職場体験を受け入れた。(4件)</li> </ul>

### ○利用者の視点に立ったサービスの提供

- ・新型コロナウイルス感染防止のため、文化庁補助金を活用して、ホール楽屋及びセミナールーム3講師控室に空気清浄機を整備した。
- ・Wi-Fi等のインターネット環境下でのオンライン会議や研修会が増加しており、事前にインターネット接続テストを希望する利用者には柔軟に対応した。
- ・バリアフリートイレ以外でも尿漏れパッドを廃棄できるよう、男性用トイレにサニタリーボックスを設置した。
- ・利用に係る各種申請書をより簡単に提出できるよう、ホームページに申請書ファイル受付専用フォームを開設した。
- ・改修工事により大ホール反射板の扉を拡張したことにより、文化団体の利用者から「楽器、道具の出入れが非常に楽になった」と好評であった。

### ○効率的な施設運営

- ・来館者が「快適・安全」に過ごすことができる環境を提供することを第一としながら、省エネルギー、省資源への取り組みとして、契約電力の引き下げをはじめ、節電、節水等に配慮した施設の管理運営に努めた。
- ・鳥取県版環境管理システム(T.E.A.S)Ⅱ種の更新登録を行い、職員に対する環境配慮への意識啓発や、利用者へも節水や空調設定温度の協力を啓発した。
- ・節電対策として、不要箇所の消灯廊下等の間引き点灯(節電の館内表示)、こまめな空調管理を行い前年同月5%節減を目標に実践し、令和5年1月から3月に実施された電力会社の「冬の節電プログラム」では、3カ月とも年同月比3%以上の節電を達成した(3か月間で73,200kwh削減)。
- ・経年劣化による設備の不具合が増加しているが、修理部材を購入して職員自らが修理をすることにより、修繕費を抑える努力をした。

### ○地域との連携、文化芸術拠点としての活動

中部地域の交流・活性化拠点として、文化芸術(実演芸術)が持つ力や管理施設の特徴を活かした企画を通じて心豊かな“ひとつづくり”と活力ある“まちづくり”を目指す「倉吉未来中心 未来つながるプロジェクト」に取り組んだ。このプロジェクトでは①将来を担う子どもたちへの取組 ②交流促進・賑わい創出の取組 ③活動支援の取組の3点を重点ポイントとし、特に地域の全ての子どもたちが等しく文化芸術(実演芸術)に触れることで豊かな感性と創造性を育み、将来的に地域をより発展させる人材へと育つことを目的に掲げ、本プロジェクトを推進した。

また、鳥取県文化振興財団の中部拠点として、中部地域の文化振興を目的に、文化振興財団主催事業及びとりアート中部地区事務局業務(県補助事業)に取り組んだ。

#### 【倉吉未来中心「未来つながるプロジェクト」の主な取組】

##### ①重点ポイント1「将来を担う子どもたちへの取組」

地域の将来を担う子どもたちへの取組として、乳幼児から来場可能な「ハッピースマイルコンサート」を倉吉未来中心を会場に4公演、琴浦町(旧赤碓町)を会場に1公演開催した。出演は県内在住の若手音楽家を起用し、小ホール、アトリウム及び町所有施設を会場に、弦楽器・管楽器・打楽器・ピアノなどの多様なプログラムの公演を開催した。コロナ対策として1回当たりの定員を制限しつつも、各公演2回公演とし、一人でも多くの子どもたちが鑑賞出来るよう環境を整え、前年度を上回る約860名の来場実績となった。アウトリーチにおいては、初めて旧赤碓町にある「赤碓地域コミュニティーセンター」を会場に開催し、倉吉未来中心から距離が離れた地域の子どものために音楽の楽しさを届けることができた。また、初めての取組として、倉吉市児童館まつり内でキッズコンサートを開催し、地域福祉との連携に努めた。

##### ②重点ポイント2「交流促進・賑わい創出の取組」

交流促進・賑わい創出の取組として、開放的なアトリウムや音響特性に優れたホールなどの施設の特徴を活かした企画を実施した。まずアトリウムでは、春・夏・秋の年3回、それぞれの季節にまつわる曲を織り交ぜたミニコンサートを、県内在住の若手音楽家の出演により開催した。特に夏企画では、土日のコンサートへの来場が難しい方へのアプローチとして、初めて平日(金曜日)の夜公演を開催し、整理券・WEB受付も予定満了となるなど、予想を上回る反応となった。また、ホールでは、館内に設置してあるパイプオルガンの魅力を引き出すバロック音楽コンサートを開催し、出演者である鳥取県出身の若手弦楽奏者の活動を支援するとともに、会館の魅力・特色の発信に努めた。

また、開館20周年記念として令和3年度に計画していたが、新型コロナウイルスの影響により延期した「ホールたんけんツアースペシャル(バックステージツアー)」を開催した。中部地区を中心に活動する3団体のステージパフォーマンスを中心に、ホールの裏側やそこで働く職員の仕事、さらには大ホールのリニューアルポイントを紹介する演出を盛り込んだショー形式のバックステージツアーとし、新たな試みにより、ホールの魅力を発信した。

##### ③重点ポイント3「活動支援の取組」

活動支援の取組として、ホール関係者や一般活動者を対象とした舞台技術ワークショップの開催を通じて地域の文化活動を下支えた。全4回中3回を町所有ホールでの開催(三朝町(1回)、琴浦町(2回))とすることで中部地区内の文化施設と連携を図るとともに、舞台技術の基礎に関するプログラムにより、地域の文化振興の一翼を担った。

また、高校演劇部員向けについては、令和3年度に続いて個別開催とし、より細やかな体制の下、継続的に支援を行った。

#### 【文化振興財団・中部地区拠点としての主な取組】

①財団主催鑑賞型プログラムとして、「ストラディヴァリウス・コンサート2022」「ウィーン・リング・アンサンブル ニューイヤー・コンサート2023」の2公演を開催した。「ストラディヴァリウス・コンサート2022」は、世界に6組しか存在しない弦楽器の最高峰「ストラディヴァリウス」の弦楽四重奏セットを用いた室内楽コンサート、そして、「ウィーン・リング・アンサンブル・ニューイヤーコンサート」は、世界有数のオーケストラ「ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団」の首席奏者等を中心に構成されたアンサンブルによるコンサートで、地域に居ながらにして世界的な音色に浸れる2公演を開催した。特に、「ストラディヴァリウス・コンサート」については、国内で東京・大阪・倉吉の3カ所のみ開催ということもあり、4年度の主催事業で最多となる900名越えの来場者となった。

②特別共催プログラムとして、「劇団四季ミュージカル『ロボット・イン・ザ・ガーデン』」「高嶋ちさ子12人のヴァイオリニストコンサートツアー」の2公演を、新日本海新聞社との共催により開催した。どちらも高い知名度を持つ劇団・演奏者の公演であったが、「高嶋ちさ子」についてはチケットが完売となり、地域のニーズに応えることができた。

③教育プログラムとして、学校向けアウトリーチである「とっどりの芸術宅配便事業」を、申込があった中部地区小学校4校で開催した。ヒップホップダンス、ゴスペル、弦楽アンサンブルの3ジャンルで開催し、子どもたちが日々過ごす学校で生の実演芸術に触れる機会を提供した。

【とりアート中部地区委員会事務局としての主な取組】  
 令和4年度も引き続きコロナ禍での開催となったが、事務局としてコロナ対策の最新情報や他事業で培ったノウハウを提示しながら実行委員をサポートし、結果として、ほぼ例年通りの形式で開催することができた。また、コロナ対策以外の部分においても、前年の鳥取県文化芸術事業評価報告書で指摘された事項を委員会へフィードバックすることで改善に努め、定量評価も目標以上の実績となり、充実したとりアート中部地区事業へと導いた。

[現在、苦慮している事項] [今後、改善・工夫したい事項・積極的に取り組みたい事項]
<b>[現在、苦慮していること]</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度からの電気料金と灯油（冷暖房燃料）の急激な高騰は、財団の経営努力の範疇を超え、施設運営に多大な影響を及ぼすところであったが、照明の一部消灯や夜間利用のないエリアの消灯、施設利用のない夜間の閉館による節電対策や、予冷・予熱を活用した空調運転、並びに指定管理委託料の増額により運営を行うことができた。しかし、先行きの見えない光熱費の高騰に対し、今後の健全な経営への不安が大きい。</li> </ul>
<b>[今後、改善・工夫したい事項・積極的に取り組みたい事項]</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備等の改修工事が進む中、利用者への影響が最低限となるよう工事計画を調整するとともに、県の中長期保全計画を基に、経年劣化の進行度合による計画の進捗調整や利用者の要望等をうかがいながら、今後の改修工事等に反映させ、安心・安全な施設運営を行う。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大の影響による施設の利用率・利用人数の低下は平常時の状態に回復していない。コロナ禍により控えていた利用促進活動を再開し、利用率・利用人数及び利用料収入の増加に努めたい。</li> <li>・「未来つながるプロジェクト」は、地域の将来を担う子どもたちへの取組を中核に据えて展開しているところであるが、従来の土日祝の公演に加え、新たに保育園・こども園向けの平日アウトリーチ等も織り交ぜ、一人でも多くの子ども達が文化芸術に触れられるよう、機会の充実に努めていく。</li> <li>・「未来つながるプロジェクト」において、将来が期待される地元の若手アーティストを積極的に起用しているところであるが、キッズプログラムやアウトリーチなどの趣旨を理解し、出演のみならず企画段階から関わるプログラムを構築し、企画力や制作力の向上を通じて、地域で活躍できる人材の育成に寄与していく。</li> <li>・中部地区の文化振興拠点として、引き続き中部地区4町との関係性を意識した取組を展開していく。各町との連携の下、町所有ホール等を会場としたアウトリーチ公演や舞台技術ワークショップを通じて、各関係機関との連携をより密にすることにより、中部地区の文化振興及び人材育成に努めていく。</li> </ul>

10 施設所管課による業務点検

項目	評価	点検結果
[施設設備の維持管理・緊急時の対応等] ○施設設備の保守管理・修繕 ○施設の保安警備、清掃等 ○事故の防止措置、緊急時の対応	4	○施設の利用状況を加味して臨時休館日を設けるなどし、設備の予防点検に努め、中長期保全計画に基づき県担当課と調整の上、施設設備の保守点検、修繕業務を適切に遂行している。 ○倉吉パークスクエア内の施設と連携し、消防訓練や混雑時の対応訓練等を実施し、職員の危機意識や安全管理能力を高めている。
[施設の利用の許可、利用料の徴収等] ○利用の許可 ○適正管理に必要な利用者への措置命令 ○利用料金の徴収、減免の実施	3	○適切に実施されている。
[その他管理施設の管理に必要な業務] ○利用受付・案内 ○附属設備・備品の貸出し ○利用指導・操作	4	○利用申請に係るオンライン手続きやフォームの開設を行ったほか、イベント主催に対し、トータルサポートの窓口を設置し相談対応を実施した。
[利用者サービス] ○開館時間、休館日、利用料金等 ○利用者へのサービス提供・向上策 ○施設の利用促進 ○個人情報保護、情報公開 ○利用者意見の把握・対応	4	○SNSを活用したホールの空き情報の発信や公演内容に応じ工夫した広報を行い利用促進に努めるとともに、利用者アンケートを通じ施設の利便性向上に向け積極的に取り組んでいる。 ○キャッシュレス決済を導入し、利便性向上を図った。
[活性化事業の実施状況] ○実施内容	4	○地域の子どもたちに生の実演芸術に触れる機会を提供するなど、アウトリーチも含めた多様なプログラムを実施。 ○ホール関係者や一般活動者を対象とした舞台技術ワークショップを開催し、地域の文化施設と連携を図るとともに、舞台技術の基礎に関するプログラムにより、地域の文化活動の支援に取り組んでいる。 ○開放的なアトリウムや音響特性に優れたホールなど施設の特徴を活かしたミニコンサート等を実施し、出演者である鳥取県出身の若手音楽家の活動を支援するとともに、交流促進・賑わい創出の場として、会館の魅力を発信することに努めた。 ○人々が交流する場所としてアトリウムを活かした様々な催事のほか、県立美術館の機運盛り上げの取組を実施。

〔収入支出の状況〕	3	<p>○新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、継続的な施設の維持修繕費支出や光熱費高騰のあおりを受けながらも経費節減等に取組、安定的な収支決算で事業年度を終えた。</p> <p>○不要箇所の間引き点灯、こまめな空調管理等を徹底し、令和5年1月から3月の3か月間は、いずれの月も前年同月比3%以上の節電を達成した。</p> <p>○修理部材を購入し、施設職員自らが対応可能箇所を修理することで、修繕費の節減に努めた。</p>
〔職員の配置〕	3	○協定の内容どおり実施されており、適切に配置が行われている。
〔会計事務の状況〕 ○不適正事案や事故等の有無 ○業務報告書(月次)における内部検査結果 ○利用料金等に係る適正な会計事務 (利用券、利用券管理簿の管理など) ○必要な規程類の整備 (会計規程、協定書等で整備が定められている規程など)	3	○適切に実施されている。
〔関係法令の遵守状況〕 ○関係法令に係る行政指導等の有無等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・労働関係法令 (労働基準、労働安全、障がい者雇用等)</li> <li>・環境関連法令 (大気、水質、振動、廃棄物等)</li> <li>・その他の法令</li> </ul> ○県内発注(鳥取県産業振興条例)	3	○適切に実施されている。
〔県の施策への協力〕 ○障がい者就労施設への発注	4	○印刷物の発注等、障がい者就労施設への発注実績が認められる。
総 括	3.5	施設利用に係る基本的な管理運営はもとより、感染症対策や光熱費等高騰に柔軟に対応しながら、施設利用者の更なる利便性向上や効果的かつ安全安心なイベント運営に資する助言指導等を行うなど、文化芸術事業の継続と発展に向けて、地域の文化活動拠点としてその役割と機能維持・向上に取り組んでいる。

- 《評価指標》 5：協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画・目標を上回る実績があり、優れた管理運営がなされている。
- 4：協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。
- 3：おおむね協定書の内容どおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
- 2：協定書の内容に対して不適切な事項が認められ、また、計画・目標を達成していない。
- 1：協定書の内容に対して重大な違反事項が認められる、指摘済みの不適切事項が放置されている、計画・目標、前年度実績を大きく下回っているなど、大いに改善を要する。
- ※総括欄は、各項目の平均の小数点以下第2位を四捨五入した数値を基本に、総合的に評価する。